令和５年９月５日

報道関係者各位

国立大学法人北海道国立大学機構
帯広畜産大学

令和5年度産学官金連携交流会 “大人のオープンキャンパス”の開催について

帯広畜産大学では、本学及び共同研究機関との研究活動を紹介するとともに交流の場を設け、地域における産学官金連携活動を一層推進するため、「令和5年度産学官金連携交流会 “大人のオープンキャンパス”」を下記のとおり開催いたします。

つきましては、周知及び当日の取材について、よろしくお願いいたします。

記

【テーマ】　これからの乳牛飼養のあり方とは
【日時・場所】　令和5年9月25日（月）
●第1部：研究室訪問　13：30～14：30（集合：13：00）　帯広畜産大学各研究室（集合：帯広畜産大学講堂）
●第2部：講演会　15：00～17：30（開場：14：30）　帯広畜産大学講堂／オンライン配信（Zoom）
●第3部：情報交換会　17：45～19：15　帯広畜産大学生協前広場（雨天時：かしわプラザ内）
【対　象】　地域の中小企業・団体等の産学官金関係者、学生など
【参加費】　第1部・第2部：無料／第3部：3,000円
【主　催】　北海道国立大学機構帯広畜産大学
【共　催】　とかち財団
【後　援】　帯広市

【申込方法】
事前登録制となっていますので、産学連携センターHP から、申込フォームまたはチラシ裏面の申込書にて、9月19日（火）までにお申し込みください。
・産学連携センターHP：https://www.obihiro.ac.jp/facility/crcenter/event/56269

【お問合せ先】
帯広畜産大学産学連携センター　担当：東・高橋・村上
TEL：0155-49-5771／FAX：0155-49-5775
E-mail：crcenter@obihiro.ac.jp

【第1部：研究室訪問】

①菅原　雅之　研究室（生命・食料化学研究部門　准教授）

②後藤　達彦　研究室（グローバルアグロメディシン研究センター　助教）

③草場　信之　研究室（畜産フィールド科学センター　准教授）＋ 畜産フィールド科学センター新牛舎

※企業等集積プラットフォーム参画機関限定（定員：各5名）

【第2部：講演会】

≪プログラム≫

●開会挨拶

帯広畜産大学長　長澤　秀行

●基調講演

「酪農における給与飼料の現状と今後の展望　～自給飼料の確保と放牧酪農の可能性～」

農研機構・北海道農業研究センター・寒地酪農研究領域長　須藤　賢司

●大学講演

「暑さに強い乳牛を増やすための取り組み　～気候変動への対応～」

帯広畜産大学　生命・食料科学研究部門　准教授　萩谷　功一

－休憩―

●企業講演

「大規模化する酪農経営におけるマネジメントシステム」

有限会社北広牧場　専務取締役　若杉　真吾

●新任教員紹介

「牛の飼い方による感染症の発生予防」

帯広畜産大学 獣医学研究部門　教授　大塚　浩通

「作物生産を支える「良い土の物理性」」

帯広畜産大学　グローバルアグロメディシン研究センター　助教　島田　紘明

●閉会挨拶

帯広畜産大学産学連携センター長　岡田　繁

【第3部：情報交換会】

●野外バーベキュー、Beer Meering、畜大屋台

※会費：3,000円

令和5年度 産学官金連携交流会

帯広畜産大学
Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

大人のオープンキャンパス　～これからの乳牛飼養のあり方とは～

参加費
第1部：無料
第2部：無料
第3部：3,000円

9/25(月)

帯広畜産大学 講堂
&
オンライン配信（第2部のみ）

第1部 13:30～14:30 (集合 13:00) **研究室訪問**
会場：帯広畜産大学 講堂集合、各研究室
＊第1部は、企業等集積プラットフォーム参画機関限定です。

第2部 15:00～17:30 (開場 14:30) **講演会**
会場：帯広畜産大学 講堂 & オンライン配信（Zoom）

第3部 17:45～19:15 **情報交換会**
会場：帯広畜産大学 生協前広場（雨天時：かしわプラザ）

対象 地域の中小企業・団体等の産学官金関係者、学生など

参加申込 申込みフォームまたは裏面の参加申込書にてお申し込みください。
〆切：9/19 (火)
https://forms.gle/uyrrhGcqnAzDw1Po6

第1部 研究室訪問

＊第1部は、企業等集積プラットフォーム参画機関限定です。
参加希望の方でまだ入会されていない場合は、HPよりお申し込みください。

13:30 訪問先（詳細は裏面をご覧ください。）各研究室定員：5名

① 菅原研究室	生命・食料科学研究部門 准教授	菅原　雅之
② 後藤研究室	グローバルアグロメディシン研究センター 助教	後藤　達彦
③ 草場研究室 ＋ 畜産フィールド科学センター新牛舎	畜産フィールド科学センター 准教授	草場　信之

14:30

第2部 講演会プログラム

15:00	開会挨拶	帯広畜産大学 学長　長澤　秀行	
15:10	基調講演		
	■酪農における給与飼料の現状と今後の展望 ～自給飼料の確保と放牧酪農の可能性～	農研機構北海道農業研究センター 寒地酪農研究領域 領域長	須藤　賢司
15:55	大学講演		
	■暑さに強い乳牛を増やすための取組み ～気候変動への対応～	生命・食料科学研究部門 准教授	萩谷　功一
16:35	企業講演		
	■大規模化する酪農経営におけるマネジメントシステム	有限会社北広牧場 専務取締役	若杉　真吾
16:55	新任教員紹介		
	■ 牛の飼い方による感染症の発生予防	獣医学研究部門 教授	大塚　浩通
	■ 作物生産を支える「良い土の物理性」	グローバルアグロメディシン研究センター 助教	島田　紘明
17:25	閉会挨拶	産学連携センター長　岡田　繁	

第3部 情報交換会

17:45 BBQ, Beer Meeting & 畜大屋台

【主催】北海道国立大学機構 帯広畜産大学　【共催】とかち財団　【後援】帯広市

お問合わせ先 帯広畜産大学産学連携センター Email : crcenter@obihiro.ac.jp / TEL : 0155-49-5771 / https://www.obihiro.ac.jp/facility/crcenter/

2023年9月25日（月）

締切：**9月19日（火）**

帯広畜産大学 産学官金連携交流会 参加申込書

必要事項をご記入のうえ
メールまたはFAXにてご送付ください。

E-mail：crcenter@obihiro.ac.jp
FAX ：0155-49-5775

お名前（必須）	
ご所属・役職等	
電話番号　（必須）	
メールアドレス　（必須）	
申し込み内容 **ご参加を希望されるものに☑を入れてください。**	□　**第1部：研究室訪問**（＊企業等集積プラットフォーム参画機関限定） 訪問を希望する研究室　＊下記①～③よりお選びください。 第１希望（　　）　第２希望（　　） 訪問を希望する理由 （　　） □　**第2部：講演会** 参加方法　（ □現地　・　□オンライン ） ＊オンラインの参加方法については別途ご案内いたします。 □　**第3部：情報交換会（BBQ）**　**＊会費：3,000円** ＊第3部の会費に残金が生じた場合は、帯広畜産大学の産学連携活動のために寄附させていただきますので、予めご了承ください。 ＊会費は、当日受付にて現金でのお支払いをお願いします。

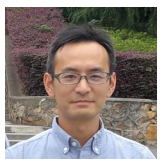
【第1部：研究室訪問について】（＊企業等集積プラットフォーム参画機関限定です。）

研究室訪問に参加をご希望される方は、下記の①～③からご希望の研究室をお選びください。
各施設の定員は５名ですが、希望者多数の場合は抽選いたします。
訪問場所が決まりましたら、**9月22日（金）まで**にメールでお知らせいたします。

＊具体的に本学との共同研究等を検討している方を優先させていただきます。
＊企業等集積プラットフォームへまだ参画されていない方は、HP（http://univ.obihiro.ac.jp/~platform/tp_detail.php?c=join）よりお申し込みください。

① 菅原研究室

微生物の研究を通じて食料の安定供給と環境に優しい社会の構築に貢献したい



人の食生活において微生物の働きはとても重要です。
例えば米からアルコールを生成する清酒醸造の過程では、主役の麹菌や酵母以外にも乳酸菌をはじめとする様々な微生物が協調して働き、清酒の質・香味の違いに影響を与えます。日本の国立大学で初めて設置された酒蔵「碧雲蔵」の皆様と連携し、微生物の機能解明や有用微生物の探索等から、豊かな食生活へ向けた微生物の有効利用を目指しております。

② 後藤研究室

家畜が示す表現型の多様性を遺伝的に解明し畜産業界に活かしたい

ニワトリは実に多様な生き物です。鶏肉産業で用いられるブロイラーは，短距離走の選手のように，短期間で爆発的な成長を見せます。一方，鶏卵産業で用いられるレイヤーは，長距離走の選手のようにスリムで，長期にわたって卵を生産してくれます。遺伝子解析を行うことによって，どのような遺伝子群が形態や生産性、行動の特徴に関係しているのかを明らかにすることが可能で、身近な例を基に最新の研究成果をご紹介します。

③ 草場研究室＋畜産フィールド科学センター新牛舎

乳牛の乳房炎に対する実効性あるコントロール手法を普及したい

牛の健康を守ることは、生産性の向上だけでなく安全な畜産物の提供、ひいては食の安全を守ることにつながります。当研究室では、最も強い生産阻害要因である乳房炎の予防・防除に関する研究を始め、子牛の発育促進・疾病制御に係る教育ならびに研究を行っています。今回は、畜産フィールド科学センターに今年度新しくできたフリーバーン牛舎をご案内しながら、酪農生産の入口（子牛の管理）～出口（乳生産）までのポイントについてご説明します。
＊1週間以内に海外渡航歴のある方のご入場は、防疫上の観点からお控えいただいております。当日、他の農場へ訪問された方は、シャワーをお済ませの上ご来場ください。

【帯広畜産大学 会場案内図】

参加費

第１部：研究室訪問　無料
第２部：講演会　無料
第３部：情報交換会　3,000円

【個人情報の取り扱いについて】
1. 帯広畜産大学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「北海道国立大学機構保有個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。
2. お申込み時にお知らせいただいた個人情報については、本交流会の運営、本学の産学連携活動を行うためにのみ利用します。
3. 講演等をより効果的にするために、講演者へ所属機関・役職・氏名の情報を提供することがあります。